

・根岸の丘の梅林観賞!

園内の桜と並んで、2月は70種310本の梅林の花が見頃。

- ・集合 午前9時 横浜公園 (JR、地下鉄、関内駅5分)
- ・コース 南京墓地～スタンド (旧一等馬券場)～根岸森林公園～根岸競馬記念公園～根岸外人墓地～山手駅
- ・解散 午後0時30分頃 山手駅 (JR根岸線)



南京墓地、正式名は中華義荘で元々は山手の外人墓地にあったが、1873年に現在の中区大芝台に移された。3階の納骨堂には墓に埋葬されてない数多くの人々が納骨されている。しばらく滑らかな丘を上ると根岸競馬場が見えてくる。100年以前の巨大建築物、どういう保存方法をとっているかわからないが根岸の競馬場発祥地を後世に伝える大事な建築物である。開場は1886年9月、閉場は1943年6月、1905年には天皇賞、1939年には現在の皐月賞が行われたそうである。1943年以降は春は東京競馬場、秋は中山競馬場に代替開催された。スタンドは文壽堂の印刷工場が置かれた。日本競馬会は代替用地を軍に求め、小田急線相模大野南側の、江ノ電沿線付近に移転するはずだったが、既に戦争末期となっており叶わなかった。もし移転されていたならば今この辺はどうなっていたのだろうか？梅林観賞はやはりまだで、2分咲きか。広大な競馬場跡地芝生広場を抜け、ポニーを見ながら丘を下り、山手駅沿いの根岸外人墓地で解散式。人がひとり通れるかの門に入り、広場を使わせて頂く。本日参加者128名、役員13名、歩数16,000歩。2月に入り天候が安定している。梅が咲いていようかなろうが、気持ちのいいウォーキングであった。

